



車いすバスケットボールを始めたのは12歳の時でした。その1年目に「Jキャンプ」に参加をしたことがきっかけで僕の人生はどんどん広がっていきました。イリノイ大学に挑戦し最終的には卒業できたことも、その後ドイツのチームとプロ契約をして最後にドイツリーグ制覇、すなわちブンデスリーガチャンピオンになれたのも、世界中に友達やライバルと呼べる存在ができたことも。全ての始まりはJキャンプでした。Jキャンプの理念にもあるように、まさに可能性と選択肢がどんどん広がっていく人生を歩んできました。

今度は僕がそのきっかけを作る側になって、次の世代、そのまた次の世代に繋いでいく活動がしたい！日本を回りながら地域の活動を学びつつ、Jキャンプが持つ「ファンダメンタルプログラム」を始めとするコンテンツを共有しながら、車いすバスケットボールの楽しさをより多くの方に伝えていけるような活動をしていきたい！そう思ってドイツリーグのチームと契約更新をせず、日本に帰国することを決意しました。

日本代表を目指す「選手」としての活動は続けます。このため、本格的に日本を回ることは今はまだ難しい状況ですが、1 day キャンプなど、選手活動と並行してできることをしようと考えました。11月にあるはずだった大会がいくつかなくなったことでできた隙間で、1泊2日のキャンプを両親のルーツである四国で開催させていただくことになりました。

選手とコーチは違うなと改めて感じつつ、コーチ経験の乏しい僕の第1回目の企画は「トライアル」として小規模開催させていただくことにしました。

車いすバスケットボールがもっとうまくなりたい！楽しさをもっと知りたい！そう思っている皆さん、是非僕と一緒に車いすバスケットボールしましょう！

2022年10月吉日

Jキャンプスタッフ 香西宏昭

[PROFILE]

中学生で千葉ホークスに入り、車いすバスケットを始め。中学1年生の夏休み、Jキャンプに参加し、当時アメリカ・イリノイ大学とカナダ代表のヘッドコーチだったマイク・フログリーの指導を受ける。高校卒業後に渡米し、イリノイ大学にて2年連続全米大学リーグシーズン MVP を受賞。卒業後は渡独し、ドイツブンデスリーガでプロ選手となる。日本代表では2008年北京大会から4大会連続でパラリンピックに出場。東京パラで銀メダルを獲得。2022年ドイツ最後のシーズンにRSV Lahn-Dillで初のリーグ優勝。6月より拠点を日本に移して活動を始める。

